

R6年9月7日（土）・8日（日）

「大地の再生講座」

@吉野運動公園 実施しました



森林環境譲与税を
活用した事業です

大地の再生講座とは？

土地本来の元気を取り戻すことを目的に、水・空気の流れの改善方法を学ぶ実践型講座。
全国各地でこの活動が広がっています。行政主催の講座としては、四国ではおそらく初めて。



昨年度からスタートした取り組みで、今回は2回目です。講師は、大地園芸代表、大地の再生士の兼田汰知（かねだたいち）さん。

「その時、その人が出来ることをする」ということを大切にしながら、2日間で子どもから大人まで約30名が参加。和気あいあいと作業をしました。

講座の内容・様子ををご紹介します。



1日目 誰でもできて、効果アリ。ちょっと変わった草刈り・剪定！

この方法を繰り返すと、草木がおだやかに成長し、管理が楽になるとか！

風の草刈り



刈る場所

風にゆられた時に、
曲がるところでカット。
風になびいてちぎれたイメージで

◀講師の兼田さん



◀上記を意識して、かまぼこ型にカット。根元から刈ると、反発するように早く成長してしまう



◀「風の通り道になりそうなところ」を低めに、そのほかは、かまぼこ状に残します

風の剪定



直観的な方法だから初めてでもできる！

枝葉が茂り、風通しが悪くなったツツジ。手でさわって詰まった感じがするところをノコギリやノコギリで叩いたり、枝を抜いたりして、風通しを良くしていきます

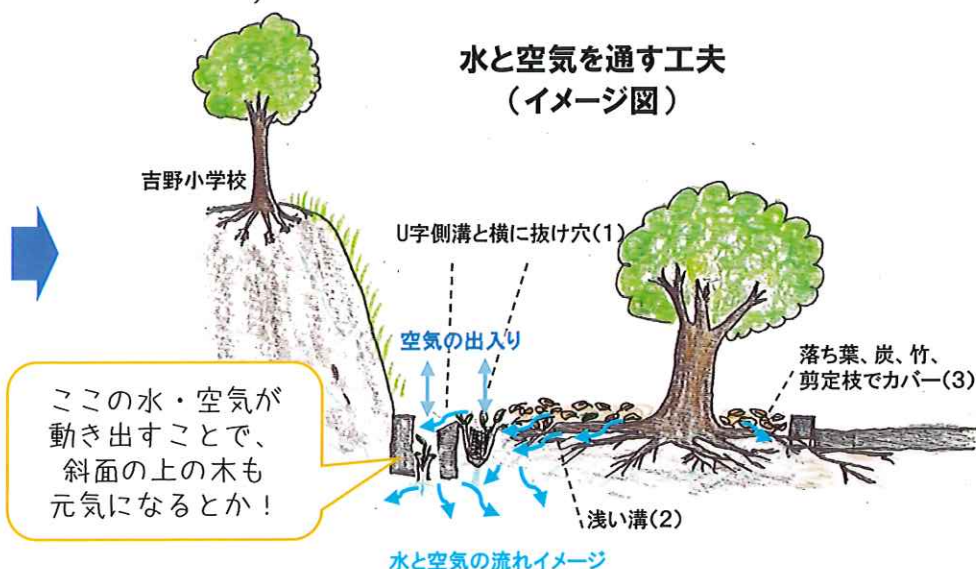


全体的に風・光の通りが良くなりました。ツツジの向こう側が薄っすら見えて、明るい印象に！

吉野小学校側の植え込み



昨年度（2023年9月14日）の様子



1 空気穴づくり



側溝沿いに一定間隔で、空気穴を作りました。予想以上に固く30cm掘るのも一苦労…！



掘り進めると灰色の土が出現！モフンとしたガスの匂いも。無酸素状態により有機ガスが発生しているとか。木もツライ！



掘った穴に、空気を通すメッシュの筒、竹、剪定枝、炭を入れて完成！ここから少しずつ、土の中に空気が入り込み、周りの環境が好転します

2 通気と水浸透を改善するための溝づくり



上の穴に繋げるように、5cm程度の溝を掘り…



溝には、泥を濾しになるよう、炭と剪定枝を据えました。同時に、枝葉が分解される過程で、溝の周りの土が柔らかくなっていきます



さらに落ち葉、竹チップ、炭、剪定枝でカバーをしました

3 グラウンドカバー

兼田さんによると、このやり方を続けると、草木が元気になるだけでなく、カビやハチ、ヘビなども減って、人にとっても心地よい空間になるそうです。昨年度の空気穴の周りでは草木が青々としてきています。

変化は急には起きませんが、継続することで、少しずつ、環境が変わっていきます。

お問合せ

本山町まちづくり推進課 産業振興班 0887-76-3916

本山町教育委員会 社会教育班 0887-76-2084



来年も継続します。
見守ってくださいね。

← 前回の様子もぜひ
ご覧ください！